

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

・便器の種類によって凍結予防のしかたが異なります。便器の種類に合わせて、作業してください。

お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

■設定のしかた

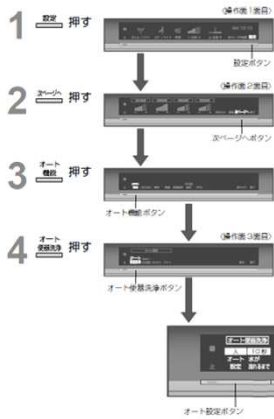
・凍結防止の前に
リモコンで、「オート便器洗浄」「オートふた開閉」を「切」にしてください。



■凍結防止中のウォシュレットの動作

- ・「運転」ランプが点滅する
- ・約10分間隔で便器洗浄(約4.8L)する
- ・約50mlの水が約5分間隔でノズル付近から出る(ノズルは収納したまま)

オート便器洗浄

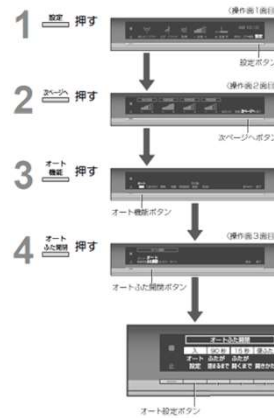


自動で便器洗浄する/しない
オート設定

5 オート設定 押す
(押すたびに画面が切り替わる)
●自動で便器洗浄するとき → 「入」
●自動で便器洗浄しないとき → 「切」

オート設定ボタン

オートふた開閉



自動で便ふたを開閉する/しない
オート設定

5 オート設定 押す
(押すたびに画面が切り替わる)
●自動で閉閉するとき → 「入」
●自動で閉閉しないとき → 「切」

オート設定ボタン

■ご使用のタイプを選択してください



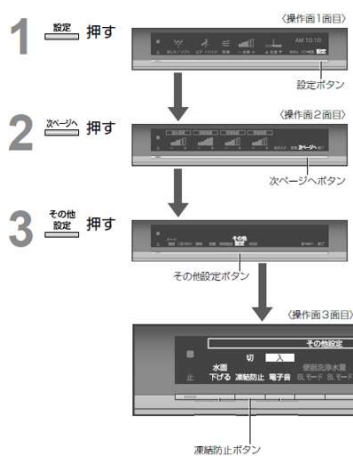
凍結予防方式	便器品番
流動方式	品番に「H」なし
ヒーター付便器・水抜併用方式	品番に「H」あり

流動方式

ヒーター付便器・水抜併用方式

流動方式（ヒーター付便器・水抜併用方式以外）

便器とウォシュレットの水を、一定の間隔で自動で流して、凍結を予防する方法です。



便器とウォシュレットの水を一定の間隔で自動で流す
凍結防止

<「入」に設定する場合>
設定すると約10分間隔で便器洗浄して凍結を防止します。






4 **凍結防止** 押す

5 **はい** 押す

<「切」に設定する場合>
凍結防止 を押して「切」に設定してください。






ヒーター付便器・水抜併用方式

- 1 **水抜栓を操作して、給水を止める**
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。
 (製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

- 2 **押し**
 ノズルカバーが聞く (給水管の圧抜き)

- 3 **電源プラグを抜く**
- 4 **配管の水を抜く**
 ①カバー・給水フィルター付水抜栓を取りはずす
 ・給水フィルター付水抜栓を①ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

 ②水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓・カバーを取り付ける
 ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、①ドライバーで確実に締める

- 5 **電源プラグを差し込む**
 ・「運転」ランプが点灯する
- 6 **すっきりパネル(右)を取りはずす**

- 7 **タンクの水を抜く**
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
- 8 **便座温度を「高」にする**
 ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。
お知らせ
 ・ヒーター付便器は室温が5℃以下になると自動でヒーターが入ります。
 ・凍結のおそれがないときは、ヒーター付便器の電源プラグを抜いておいてください。


別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。
 (タンク内の水が凝固して皮膚の炎症などをおこす原因) (凍結して製品破損などをおこす原因)

ご注意 ・「お掃除リフト」で本体が上がった状態での水抜きはしないでください。

水抜きのしかた

- 1 **■流動方式のとき**
 止水栓または元栓を開める
■ヒーター付便器・水抜併用方式のとき
 水抜栓を操作して、給水を止める
お願い
 ・止水栓は開けたままにしておいてください。

- 2 **押し**
 ノズルカバーが聞く (給水管の圧抜き)

- 3 **電源プラグを抜く**
- 4 **配管の水を抜く**
- 5 **配管の水を抜く**
- 6 **水抜きレバーを引き出す**
 ・ノズル付近から水が出る (約20秒)

- 7 **手を離し、水抜きレバーを元に戻す**
- 8 **■ヒーター付便器・水抜併用方式のみ**
 便器内のタンクの水を抜く
 ・すっきりパネル裏面のラベル「タンク内水抜き作業手順」参照
■凍結のおそれがあるときは
 ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。
 (不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)
■再度ウォシュレットをお使いになるときは
 ・再通水が必要です。

再通水のしかた

- 1 **止水栓または元栓を開ける (P.13)**
 または、水抜栓を操作して、給水する
 ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する
- 2 **電源プラグをコンセントに差し込む**
 ・「運転」ランプが点灯する
- 3 **①ノズルから水を出す**
 (1) 便座の左側を押したまま、
 (2) リモコンの「おしり」ボタンを押して、ノズルから水を出す
 ・水は紙コップなどで受けてください。
 (3) リモコンの「止」ボタンを押す
 ② **押し**
 ・便器に水を流しながらタンクに給水します。ウォシュレット本体表示部のランプが点滅し、給水が完了すると点灯が変わります (最大約80秒)。
 ※給水が完了するまで便器洗浄できません。タンク給水中はすべての操作をしないでください。
■残水が凍結して水が出ないとき
 ・トイレ内を暖め、お湯に濡らした布で給水ホースと止水栓を温める

- 4 **便器に水がたまってから、もう一度 **押し** を押す**

※1 「便ふた閉止後洗浄モード」を「入」に設定しているときは、便ふたが開まったあとと便器洗浄します。